

「京都文教大学海外出張助成金」交付による海外出張報告書

2011年2月25日提出

申請年度	2010年度（平成22年度）		
所属学科	臨床心理学科	報告者・職氏名	教授 濱野清志
海外出張内容 (種別に)	目的 箱庭と Hawaiian Traditional Healing に関する セミナーへの参加	訪問国・地域 アメリカ合衆国 ハワイ島	・学 会 ・調 査 ・会 議 ・ <b>セミナー</b>
助成額	150,000 円		
期 間	2010年9月13日(月) ~ 2010年9月19日(日)		6泊7日
上記出張期間 の研究・調査 等活動経過	9月13日・・成田発、コナ着 ジンジャーヒルファームにて小田まゆみ氏宅を訪問・見学 9月14日・・箱庭ケースカンファレンスに参加(シェリー・シェパード講師) 9月15日・・ボルケーノ・ナショナル・パーク聖地訪問(クム・ロイ講師) 9月16日・・シェリー・シェパードによるレクチャーと聖地訪問 9月17日・・ハワイ島北ルートを通してマウナケア山見学 9月18日・・コナ発 9月19日・・成田着、その後 関空着		
研究・調査 発表等概要	セミナーでは、ハワイ島在住のシェリー・シェパード先生による、ハワイの伝統文化へのいざないと、ハワイ島からみた箱庭療法についての講義、事例検討、討論を中心に行った。また、シェパード先生と親交のあるハワイ伝統文化を継承するフラ、ロミロミ等の師(クムと呼ばれる)から、ハワイ伝統文化についての講義と、実際にどのように自然とかかわり、人とかかわるのかについて、体験的に学んだ。 初日は、今回のセミナー主催者の一人である串崎幸代により、ハワイ島で伝統文化に触れつつ、一方で、小乗仏教の瞑想と絵を描くこと、自然生活を実践している小田まゆみ氏の運営するジンジャーヒルファームを訪問し、お話を伺った。 小田まゆみ氏は、1941年生まれの画家で、「女神ワークショップ」を日本の各地で展開し、男性も女性もともに、自分自身を深く知り、社会的にもアイデンティティの定まった人を育てようという自己啓発活動を行っておられる方です。ご当人は、禅仏教の修行を40年近く実践してこられ、現在も小田まゆみ宅には小田さんの指導を受ける若い人が数名寄宿しながら、自らの手で育てた食材をもとに生活を続けておられます。心理臨床の活動と非常に隣接したところで活動を続けておられ、なおかつ、画家として世界に対してメッセージを発信し続けておられるところは、学ぶところが大きかった。 シェリー先生の箱庭のセミナーでは、参加者の一人で本学の大学院修了生でもある、長田夏子氏と元専任カウンセラーの敷敏枝氏による発表が行われた。養護施設に預けられている9歳の少年のプレイセラピーの中での箱庭表現などを検討し、シェリー先生から様々な視点で箱庭を見る体験を提供していただき、ワシやライオンの象徴表現などを議論し、視点の転換の象徴的意味について興味深い議論を行った。 また、シェリー先生のご自宅にある箱庭オフィスを見学し、箱庭療法が、その土地のありようと上手につながることで、クライアントにとってまさに生きた空間を構成することを学んだ。 そして、ハワイの伝統芸能を継承し、また伝統文化を伝える役割を担って土地の人々にクムと呼ばれる人たちの一人、クム・キモに出会い、ヒロの港にあるモコ・ロニと呼ばれる小さな島で、この地の非常に霊的に強い力を持ったところであって、そこでクム・キモにハワイの伝統的なものの考え方の基本を教えていただいた。端的には、アロハという言葉一つにハワイの伝統精神が表れているという。アロハは呼吸のことであり、アロは息を吸うこと、ハは息を吐くことである。そして、呼吸を通じて、私たちは他者や自然、環境と魂の交流をしており、私たち自身の心を開いて、全身で息を吸うこと、そして全身で息を吐くことが、同時代的にも、世代の継承としても、自分の暮らす土地に生きる自分の人生を豊かにする作業となることを力強く教えてくれた。そして、その作業を実践する一つの在り方がフラであることを学んだ。		
研究・調査 発表等々の 成果の概要			
研究・調査 等の成果 発表予定			